

## 1-1 子育て支援の充実

事業費 65億6,596万円

財源	国のお金	20億2,450万円	施策実現のための 主な事業費	子どものための教育・保育給付費	25億4,368万円
	県のお金	14億7,240万円		児童手当給付費	11億2,716万円
	市の借金	9,060万円		福祉医療給付費	9億2,676万円
	その他	4億3,815万円		保育所費	5億 628万円
	市のお金	25億4,031万円		その他	14億6,208万円

すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちを目指します

### 主な具体的取り組み事業

#### ◆幸せブーケス事業(1,267万円)

結婚祝金制度と、出会いのきっかけを得やすい「友達」との繋がりを利用して、婚姻数増加へ取り組みます。

#### ◆三世代同居等促進住まい支援事業(1,625万円)

子育て世帯にとって、親元等との三世代同居は、子育てをはじめ、仕事と家庭生活の両立、経済的な効率性の観点では有効な家族スタイルと考えられることから、親元等と同居や近居をしようとする子育て世帯の住宅取得等に対し支援します。

#### ◆出産祝金支給事業(1,831万円)

人口の増加と子どもたちの健全な成長を願い、6か月以上在住し出産したお母さんに、お子さん1人につき30,000円分の横手にぎわい商品券を差し上げます。

#### ◆放課後児童健全育成事業(2億5,589万円)

学童保育利用者の増加に伴い、次の校区で新たな施設を増設し受入れ態勢を充実していきます。  
(横手北小学校区・横手南小学校区)

#### ◆地域子育て支援拠点事業(4,492万円)

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言等の支援を行います。

#### ◆保育園・認定こども園整備助成事業(1億6,644万円)【新規事業】

土屋幼稚園・保育園、こひつじ幼稚園、和光保育園の改築に対して、運営するそれぞれの法人に補助を行います。

#### ◆防犯対策強化整備事業(751万円)【新規事業】

上宮第一幼稚園・第二幼稚園の防犯対策強化の整備に対して補助を行います。また、全ての公立保育所に防犯カメラを設置します。

#### ◆不妊治療費助成事業(586万円)

不妊治療・不育治療を受ける夫婦の負担軽減を目的とし、自己負担額の一部を助成します。

#### ◆妊産婦保健事業(6,385万円)

母子手帳の交付や健康診査・保健指導を実施し、安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう妊婦とその家族を支援します。

#### ◆乳幼児保健事業(2,133万円)

各年齢に応じた健康診査・健康相談を実施し、健やかな発育・発達を支援します。



## 1-2 健康な心と体づくりの推進

事業費 37億1,921万円

財源	国のお金	9,847万円	施策実現のための 主な事業費	後期高齢者医療制度費	14億9,068万円
	県のお金	5億7,879万円		国民健康保険特別会計繰出金	8億4,750万円
	市の借金			病院事業費	7億7,989万円
	その他	1億4,056万円		健康の駅推進事業	1,768万円
	市のお金	29億 139万円		その他	5億8,346万円

市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えていることを目指します

### 主な具体的取り組み事業

◆保健衛生総務管理費(1,252万円)

市民のみなさんの健康増進を図るための施策を企画調整します。また、がん治療に伴い、ウィッグ・乳房補正具を購入された方を対象に、購入費用の一部を新たに助成します。

◆予防接種事業(1億9,120万円)

感染・発病・重症化を予防し、健康で安心な環境づくりをめざし、接種費用を助成します。



◆がん検診事業(1億4,500万円)

胃がん・大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん等のがん検診事業を実施します。子宮頸がん・乳がんの無料対象者にはクーポン券を発送し、早期発見・早期治療を目指します。

◆特定健康診査事業(7,114万円)

糖尿病等の生活習慣病の早期発見・早期治療のため、メタボリックシンドロームに着目した健診を行います。



◆後期高齢者歯科健診事業(227万円)

今年度、76歳と79歳の後期高齢者医療加入者を対象とした歯科健診を行います。

◆病院群輪番制運営費(2,790万円)

平鹿総合病院、市立横手病院、市立大森病院の3病院が共同連帯して、輪番制方式により休日・夜間等における重症救急患者の入院治療を実施する体制を確保します。

◆健康の駅推進事業(1,768万円)

子どもから高齢者まで、みなさんが安全で効果的な健康づくりが実践できるよう支援します。健康運動の指導のほか、健康の駅よこてトレーニングセンターの健康増進器具を一部更新します。



健康の駅トレーニングセンター

### 1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進

事業費 28億813万円

財源	国のお金	1,556万円	施策実現のための 主な事業費	介護保険特別会計繰出金	17億8,489万円
	県のお金	1,064万円		高齢者福祉施設入所措置費	3億2,973万円
	市の借金	2億3,030万円		市営介護サービス事業特別会計繰出金	1億4,779万円
	その他	1億2,406万円		日常生活支援事業	7,060万円
	市のお金	24億2,757万円		その他	4億7,512万円

横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されていることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆雪下ろし雪寄せ支援事業(4,532万円)

自力での除排雪が困難な一人暮らし高齢者等の世帯に対して業者をあっせんし、対象世帯の課税状況に応じて費用の一部を助成します。

◆高齢者福祉施設整備助成事業(2億3,030万円)

特別養護老人ホーム平寿苑、特別養護老人ホームすこやか大雄の大規模改修に対して、運営するそれぞれの法人に補助を行います。



### 1-4 障がい者（児）福祉の充実

事業費 22億4,622万円

財源	国のお金	11億 831万円	施策実現のための 主な事業費	自立支援給付費	19億3,970万円
	県のお金	5億2,848万円		自立支援医療費給付事業	8,240万円
	市の借金	840万円		地域生活支援事業費	7,433万円
	その他	90万円		補装具費支給事業	2,145万円
	市のお金	6億 13万円		その他	1億2,834万円

障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしていることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆自立支援給付費(19億3,970万円)

障がいの種類にかかわらず、障がいのある方が必要とするサービスが利用できるよう受給決定を行います。

◆特別障がい者手当等給付事業(8,158万円)

精神又は身体に著しく重度の障がいがあるため、在宅で常時介護を必要とする方に対し、手当を支給します。



## 1-5 低所得者福祉の充実

事業費 13億6,833万円

財源	国のお金	8億9,239万円	施策実現のための 主な事業費	一般扶助費	10億5,754万円
	県のお金	1,040万円		公営住宅管理費	1億 432万円
	市の借金	7,460万円		施設事務費	3,965万円
	その他	1億1,128万円		生活困窮者自立促進支援事業	1,929万円
	市のお金	2億7,966万円		その他	1億4,753万円

市民が、住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、自立した生活を確立して、いきいきと暮らしていることを目指します

### 主な具体的取り組み事業

◆公営住宅整備費(1億2,980万円)

特定西野住宅、南朝日が丘住宅などの市営住宅等の改修工事を行います。

◆公営住宅管理費(1億432万円)

市営住宅等の良好な居住水準・住環境を保つため必要な修繕等を行い、適切な維持・管理を進めていきます。



特定西野住宅(大森地区)

## 1-6 福祉を支える人材の確保と育成

事業費 1億6,884万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	民生委員児童委員費	3,150万円
	県のお金	1,804万円		長寿祝金支給事業	1,328万円
	市の借金			敬老事業	1,073万円
	その他	42万円		くらしの安心サポート推進事業	58万円
	市のお金	1億5,038万円		その他	1億1,275万円

地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えて、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われていることを目指します

### 主な具体的取り組み事業

◆民生委員児童委員費(3,150万円)

それぞれの地域で、常に市民のみなさんの立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める民生委員・児童委員を支援します。

◆敬老事業(1,073万円)

長年にわたり市の発展に貢献された高齢者の長寿を祝い、各地域ごとに9月の敬老月間に合わせ敬老会を開催します。

◆地域福祉推進事業委託経費(8,073万円)

さまざまな事情から福祉サービスを必要とする状態になっても、住み慣れた地域で、共に支え合いながら生活できるように地域福祉活動を推進します。



2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 事業費 2億8,423万円

財源	国のお金	208万円	施策実現のための 主な事業費	学校生活サポート事業	6,505万円
	県のお金	430万円		学校保健管理事業	4,306万円
	市の借金			奨学資金貸付事業	3,432万円
	その他	4,250万円		教育相談・不登校適応指導教室事業	820万円
	市のお金	2億3,535万円		その他	1億3,360万円

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆英語指導助手招へい事業(4,312万円)

小学校は平成32年度、中学校は平成33年度から新学習指導要領が全面実施されるにあたり、今年度より移行期間となります。外国語教育の充実として「小学校において、中学年で『外国語活動』を、高学年で『外国語科』を導入」「小・中・高等学校一貫した学びを重視し、外国語能力の向上を図る目標を設定するとともに、国語教育との連携を図り日本語の特徴やよさに気付く指導の充実」を主な改善事項のうちに掲げています。今年度は外国語指導助手(A L T)の人数を増やし、授業の質を高めていきます。



◆言語活動充実推進事業(180万円)

児童生徒の生きる力を育むことを目標とし、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用しながら課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を構築させます。



一方、新聞を教材として活用し、ニュースや情報の整理、分析、再構築といった活動を通して自分自身の考えや意見を持ち、自ら判断して発言し、相手の意見を聞く能力を小学校の早い段階から構築させます。本を読んだり本を通じて調べたりする習慣を身に付けさせることにより「ことばの力」を育てていきます。

◆「横手を学ぶ郷土学」創設事業(659万円)

市内の小中学校において、横手を学ぶ郷土学「総合テキスト・よこてだいすき」を活用した郷土学習の充実や地域伝統芸能の継承と育成を推進します。また、地域の歴史を題材にした漫画「後三年合戦物語」の新5年生への配布、小学生らによる金沢伝統掛唄などの伝統芸能育成チーム支援、横手市子ども伝統芸能発表大会の開催、横手市創作子ども歌舞伎の上演などの事業も実施します。



## 2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備

事業費 23億2,973万円

財源	国のお金	1億7,617万円	施策実現のための 主な事業費	学校給食事業費	5億1,807万円
	県のお金			小学校統合事業	3億4,081万円
	市の借金	8億1,480万円		小学校管理費	2億5,105万円
	その他	3億6,005万円		給食調理等業務委託費	1億3,788万円
	市のお金	9億7,871万円		その他	10億8,192万円

児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、互いに協力し合い切磋琢磨しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されていることを目指します

### 主な具体的取り組み事業

◆横手南中学校駐輪場等整備事業(4,031万円) **【新規事業】**

傷みが激しくなっている駐輪場を建て替え、安心して利用できるように整備します。

◆中学校長寿命化対策事業(増田中学校)(4億8,653万円)

学校施設環境の改善を図るために、管理・特別教室棟の改修工事を行います。

◆小中学校公衆無線LAN環境整備事業(1億4,700万円) **【新規事業】**

避難所として指定されている小中学校に無線LAN環境を整備し、災害発生時の情報伝達手段の確保のほか、平時には教育用として学習活動で使用できる環境に整備します。



## 2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進

事業費 2億5,865万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	屋内体育施設費	9,935万円
	県のお金			屋外体育施設費	6,044万円
	市の借金	420万円		競技スポーツパワーアップ事業	989万円
	その他	1,240万円		スポーツのまちづくり事業	635万円
	市のお金	2億4,205万円		その他	8,262万円

スポーツを通して、市民一人ひとりが心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っていることを目指します

### 主な具体的取り組み事業

◆スポーツ合宿誘致事業(317万円)

国内でもトップクラスのスポーツチーム等による合宿を誘致し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。

◆市民スポーツ振興事業(1,039万円)

各種スポーツ大会やイベントを開催し、地域の活性化を図ります。

◆ホストタウン事業(1,065万円)

ホストタウン相手国としてインドネシア共和国バドミントンチームとの交流を図ります。また、オリンピック・パラリピアンによる講演会等を開催し、オリンピックの機運を高めます。



## 2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進

事業費 6億3,451万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	増田まんが美術館整備事業	2億7,565万円
	県のお金	222万円		公民館費	6,340万円
	市の借金	2億6,160万円		図書館費	5,623万円
	その他	1,685万円		生涯学習施設費	4,846万円
	市のお金	3億5,384万円		その他	1億9,077万円

多様な生涯学習の機会が提供され、市民が『いつでも』『どこでも』『だれでも』『なんでも』学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができ、また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生をより深く生きることができることを目指します

### 主な具体的取り組み事業

- ◆秋田大学横手分校事業(220万円)  
大学が有する様々な人材や設備、能力を活用しながら、様々な学習機会の提供を行います。
- ◆増田まんが美術館費(9,268万円)【新規事業】  
まんが美術館リニューアルオープンに向け、人員体制の整備や美術館グッズの開発等を行います。

## 2-5 よこての伝統文化の継承と再発見

事業費 1億5,962万円

財源	国のお金	5,079万円	施策実現のための 主な事業費	埋蔵文化財発掘調査事業	5,301万円
	県のお金	4,536万円		資料館費	1,676万円
	市の借金	1,520万円		歴史まちづくり事業	887万円
	その他	69万円		後三年合戦保存活用整備事業	200万円
	市のお金	4,758万円		その他	7,898万円

市民が地域の歴史や文化をよく理解し、横手に誇りを持って暮らしていることを目指します。

### 主な具体的取り組み事業

- ◆重要伝統的建造物群保存事業(防災施設等事業)(2,803万円)【新規事業】  
防災計画に基づき、保存地区内における防災施設等の新設及び既存施設の改修を実施します。
- ◆歴史文化基本構想策定事業(317万円)【新規事業】  
地域の文化財及びその周辺を総合的に保存継承・活用を図り、歴史まちづくりを推進するため「横手市歴史文化基本構想」の策定に着手します。地域の文化的資産の再発見のため、市民の皆さんとのまち歩きや、各種調査事業、報告会などを実施します。



## あの予算をもっと知りたい その3 リニューアルしたまんが美術館はどうなるの？

平成6年に開館し、当時としても珍しい「マンガ」をテーマにした増田まんが美術館は、市民のみなさんをはじめ多くのお客様に親しまれながら、マンガの魅力を発信してきました。現在は、市の重点施策の一つとして、施設を一層充実させるため、平成31年3月まで大規模な改修工事を行っています。平成31年4月には、世界初の「マンガ原画を守る」美術館として生まれ変わります。

美術館というと、展示会を思い浮かべる方が多いと思われるかもしれませんが、文化財を収集・保存するのも美術館の大切な役割です。リニューアル後のまんが美術館は、「マンガ文化の文化財」ともいえる原画を70万枚以上収蔵できる収蔵庫を有することになり、多くの原画を収蔵します。このような美術館は世界初であり、漫画家のみなさんから原画を預かり、世界一の収蔵量を目指していきます。

### リニューアルスペース

#### ◎総合案内カウンター



#### ◎まんがカフェ

マンガに登場するマンガ飯やマンガにちなんだメニューが楽しめます

#### ◎まんが展示室1



#### ◎まんがの蔵展示室

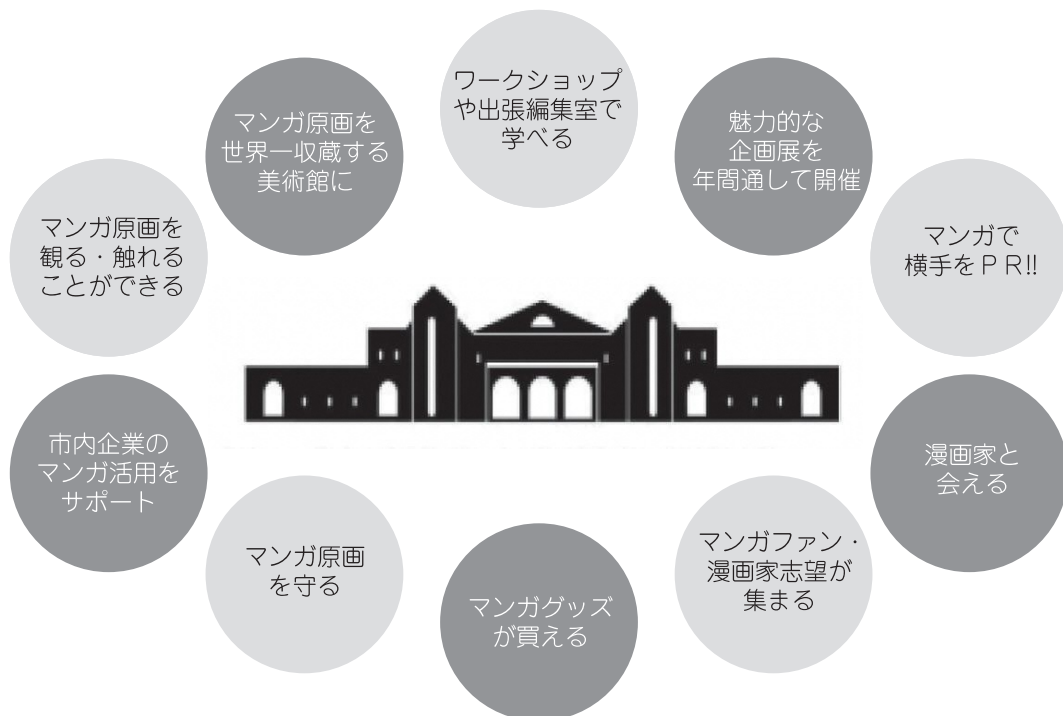


マンガの文化財ともいえるマンガの原画を大切に収蔵します

#### ◎まんが文化展示室



マンガ文化をマンガで紹介します



マンガは、もはやクールジャパンを代表する日本の文化となりました。

世界初となるマンガ原画の美術館はとても特色があり、2020年のオリンピックに合わせ国内外から大きな注目を集める可能性があります。

雪まつりや「増田の町並み」などの観光面と、横手焼きそばや質の高い横手の農産物などのグルメ面と合わせて国内外にPRすることでたくさんのお客様が横手市を訪れ、経済効果や人との交流などの「効果」が市内全体に広がっていきます。



### 3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進

事業費 7,173万円

財源	国のお金	170万円	施策実現のための 主な事業費	交通指導隊経費	1,920万円
	県のお金	219万円		老朽危険空き家対策事業	1,472万円
	市の借金	450万円		市民相談事業	608万円
	その他	45万円		交通安全対策事業	280万円
	市のお金	6,289万円		その他	2,893万円

事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送り、また、必要なときには専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆交通安全施設整備事業(2,325万円)

交通安全対策を推進し、交通事故の減少を目指し、交通安全設備の適正な維持管理を行います。

◆市民相談事業(608万円)

人権相談、法律相談、消費生活相談など各相談窓口を設置します。

◆老朽危険空き家対策事業(1,472万円)

老朽化し、地域に影響を及ぼす危険性を持った空き家への対策を行います。



### 3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全

事業費 3億4,967万円

財源	国のお金	1,977万円	施策実現のための 主な事業費	衛生センター費	1億7,613万円
	県のお金	5,344万円		斎場施設費	5,736万円
	市の借金	4,650万円		休廃止鉱山坑廃水処理事業	2,635万円
	その他	2,883万円		森林病虫害等防除事業	1,175万円
	市のお金	2億 113万円		その他	7,808万円

水と緑と人が共生し、貴重な動植物が保全され、また、まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民のやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆有害鳥獣駆除事業(223万円)

有害鳥獣による人身被害の防止と農作物被害の抑制のため、有害鳥獣被害対策実施隊活動を推進します。

◆水と緑の森づくり事業(4,158万円)

秋田県水と緑の森づくり税を活用し、広葉樹を再生したり、森林公園を整備するなど、環境や公共的機能を発揮し続ける強く健全な森林づくりを推進します。



### 3-3 災害に強いまちづくりの推進

事業費 13億1,260万円

財源	国のお金	2億1,484万円	施策実現のための 主な事業費	消防統合分署(南・西)整備事業	4億5,414万円
	県のお金	4万円		非常備消防経費	1億5,341万円
	市の借金	6億7,490万円		常備消防経費	1億 789万円
	その他	614万円		消防施設整備事業	7,491万円
	市のお金	4億1,668万円		その他	5億2,225万円

消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

◆消防統合分署(南・西) 整備事業(4億5,414万円)

建設を進める2つの統合分署について、南分署(増田・十文字統合分署)は、建物本体工事をを行います。西分署(雄物川・大森大雄統合分署)は、建設地造成や建物の実施設計を行います。

◆常備消防経費(1億789万円)

消防業務を円滑に推進できる体制を確保するため、消防車両、資機材、通信指令・無線施設、消防庁舎の適切な保守管理を実施し、各種研修や救急救命士の養成を通じて、組織の充実と活性化を図ります。

◆常備消防施設等整備事業(4,962万円)

更新基準年数に達した消防車両等の計画的な更新を実施し、消防施設等の適切な整備を図ります。

◆消防施設整備事業(7,491万円)

各地域の消防団に施設や設備を有効に配置し、計画的に更新するほか、消防水利の乏しい地域への防火水槽の設置を通じて、火災時の安定的な水利の確保を図ります。

◆雨水対策事業(2,600万円) 【新規事業】

雨水により浸水の常態地となっている市街地・公園等の排水の流水系統と流量を調査し、根本的な解決に向けて対策をすすめます。

◆平成29年発生河川災害復旧事業(2億8,675万円) 【新規事業】

平成29年7月22日から23日に発生した大雨により被災した河川を復旧します。



大きく被災した寄木川(大森地区)



### 3-4 循環型社会の一層の推進

事業費 11億2,770万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	ごみ収集費	3億8,013万円
	県のお金			クリーンプラザよこて費	3億6,409万円
	市の借金	2億5,760万円		最終処分場管理運営費	4,949万円
	その他	2億6,335万円		有機センター等費	3,863万円
	市のお金	6億 675万円		その他	2億9,536万円

市民一人一人が「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現していることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

- ◆災害廃棄物処理計画策定事業(540万円) **【新規事業】**  
地震や水害により発生した災害廃棄物の処理を円滑に進めるための計画を策定します。
- ◆旧環境保全センター解体事業(2億5,754万円) **【新規事業】**  
クリーンプラザよこての稼働により使用しなくなった旧ごみ処理施設を解体撤去します。
- ◆PCB廃棄物等処理費(666万円) **【新規事業】**  
PCB(ポリ塩化ビフェニル)を使用していた公共施設の受電用コンデンサ等を法律に従って順次処分します。

### 3-5 エネルギーの地産地消の推進

事業費 1,279万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	街路灯LED化事業	1,000万円
	県のお金			地球温暖化防止対策事業	237万円
	市の借金	900万円		カーボンオフセット地球温暖化対策事業	42万円
	その他				
	市のお金	379万円			

地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されていることを目指します

#### 主な具体的取り組み事業

- ◆地球温暖化防止対策事業(237万円)  
地球温暖化防止対策を推進するため、地中熱ヒートポンプ設備導入への補助を行い、普及促進していきます。
- ◆カーボンオフセット地球温暖化対策事業(42万円)  
CO2を吸収してくれる森林を将来にわたり守り続けるため、その整備費用の一部をCO2排出側から提供を受け、同時にCO2排出削減による地球温暖化対策としてカーボンオフセットの普及を図ります。
- ◆街路灯LED化事業(1,000万円)  
商店街で所有している街路灯のうち、市の防犯灯へ切替を希望する灯具をLED灯に改修します。

